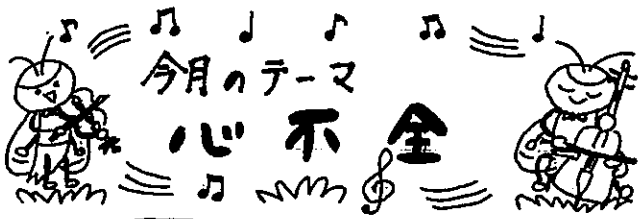




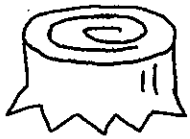
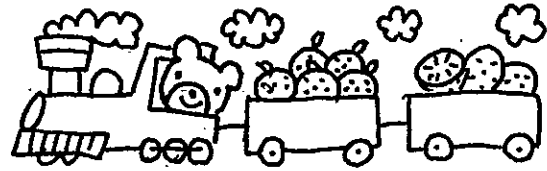
心不全

第288号

令和4.10.1発行



今月のテーマ
心不全



心不全とは、「心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、
だんだん悪くなり、生命を縮める病気」

症状が出現するようになると、息切れや疲労感、足を中心としたむくみなどの症状が目立つようになります。
心不全は年齢を重ねるごとに発症するリスクが上がるため、高齢化が進む日本においては年々発症者が増えている病気でもあります。心不全により全身に酸素を含んだ血液を送れなくなると、動悸や息切れ、疲労感などが生じます。



心不全の原因は心臓自体に問題がある場合と心臓の機能に間接的な悪影響を及ぼす要因がある場合の2つのタイプにわけられます。

- 心臓に問題がある病気として挙げられるのは、心筋梗塞、心臓弁膜症、心筋炎、心筋症、先天性心疾患などです。
- 心臓への間接的な悪影響を及ぼす原因としては、高血圧、貧血などの心臓に過度な負担がある病気。



検査

心不全が疑われる時の検査

- レントゲン検査
- 血液検査
- 心臓エコー検査
- 心電図検査

治療

- 薬物療法
- 酸素療法
- 心臓ペースメーカー
- 植込み型除細動器
- 心臓移植

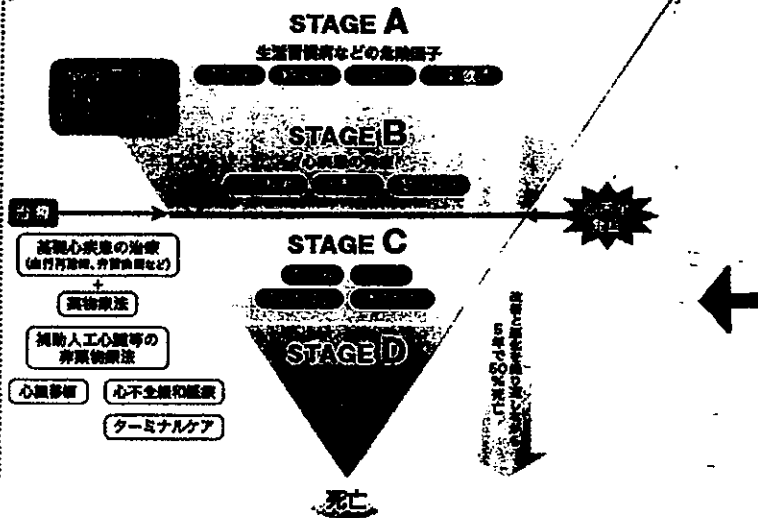
心不全は一度発症すると元には戻らず、徐々に進行して命を縮める病気ですが、予防によってステージを遅らせることが可能です。

心不全発症の予防

- 血圧管理(140-90mmHg未満)
- 減塩(1日6g未満)
- 禁煙
- 薬をきちんと服用する
- 適度な運動(週3回・1日30分のウォーキングなど)

心不全を悪化させない予防

- 薬をきちんと服用する
- 風邪をひかない
- 無理をしない
- ストレスを溜めない
- 再入院しない



心不全の
ステージ

